

校長室から  
(H30年度)

# ひがしなら通心

茨木市立東奈良小学校 川上 隆 No. 33

平成30年10月24日(水)発行

## サッカーワールドカップで学んだこと

今年の6月末から7月にかけて、日本中が大興奮したサッカーワールドカップ・ロシア大会がありました。大会前は、悲観的な予測が多かった中、日本チームは予選リーグを見事に突破し、決勝トーナメントに進出しました。ベスト8をかけたベルギーとの戦いは、途中までリードしていたなかでの劇的な敗北となり、多くの日本人が落胆したものでした。

サッカーの試合にかける選手の努力や頑張りはもちろんですが、試合外のことでも日本が世界中から驚きをもって賞賛されたことがありました。試合後の客席でゴミ拾いをする日本人サポーターがイギリスBBC放送で紹介され、マナーの良さが脚光を浴びていましたが、世界各国も続々と報道しました。アメリカCNN放送は「日本とセネガルのファンがW杯のスタジアム清掃を手伝う」と見出しを打って特集しました。さらに、決勝トーナメント1回戦のベルギーとの試合後にロッカールームがきれいに清掃され、ロシア語で「ありがとう」というメモと一緒に折り鶴が残されていたこともインターネットを通してロッカールームの写真とともに紹介されました。世界中から日本人のマナーの良さや美德が賞賛され同じ日本人としてもうれしく思いました。

本校近くの東奈良敬愛保育園の先生方も毎朝、保育園前の東奈良あやめ北児童遊園の掃除をしてくださいます。園の仕事ではないのに、頭が下がる思いです。

学校では、今年度小学校で道徳が教科化されました。(中学校は、平成31年度から)社会問題となっているいじめによる自殺問題や規範意識の低下は日本人として最も懸念されることの一つです。

ワールドカップで世界が日本人の道徳性の高さや美德を讃える中、自分のとなりに座っているクラスメートを思いやる心や人の痛みを感じることができない子どもが増えているようです。誰に対しても優しい心を持ったことが世界中から賞賛されるそんな日本人であるために、学校と家庭・地域社会でも連携して取り組んでいきたいですね。



ひ とつにみんなでまとまろう！  
が くりょくと体力をのばそう！  
し っかりせいかつしよう！  
な かよく友だちとすごそう！  
ら んらん夢に向かう東奈良っ子！

あ いさつができる子  
い っしょうけんめい勉強する子  
う んどうが好きな子  
え がおでやさしい子  
お そうじをがんばる子

## 10/15は、「世界手洗いの日」でした。

みなさんは、この日を知っていましたか。世界では、不衛生な環境や生活習慣を強いられ、5歳の誕生日を迎えずに命を終える子どもたちが、年間で660万人いると言われています。その多くは、予防可能な病気です。

自分の体を病気から守るもっとも簡単な方法の一つが、石けんで手を洗うことです。もし、石けんを使って正しく手を洗うことができれば、1年間に100万人もの子どもたちの命が守られるそうです。そこで、国際衛生年だった2008年に10月15日が「世界手洗いの日」(Global Handwashing Day)と定められました。正しい手洗いは、風邪やインフルエンザ、感染症の予防に大切なことです。私たちの生活には、目に見えないバイキンがたくさんいます。バイキンはセキ、くしゃみなどに混ざって移動し、手を通して口や鼻、目などから体の中に入って、風邪を引いたり、お腹が痛くなったりと体の具合を悪くさせます。

これからますます寒くなり、インフルエンザやノロウイルスの流行が心配されます。しっかりと手洗いの習慣をつけましょう。

「happy birthday(ハッピーバースデー)」の歌を2回歌うと、ちょうど良い手洗いの時間だそうですよ。



## みんなのためのルールブック

「あたりまえだけど、とても大切なこと」 ロン・クラーク 草思社

### ルール48 いつも正直でいよう

どんな事情があろうと、たとえわるいことをしたときでも、いつも正直でいよう。

●ほんとうのことを言う人は、尊敬され、信頼される。よくないことをしたときも、うそをつけばいつかはばれるが、正直に認めれば、その正直さが尊重される。